

## K P 4 0 E 停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

### 使用上の注意

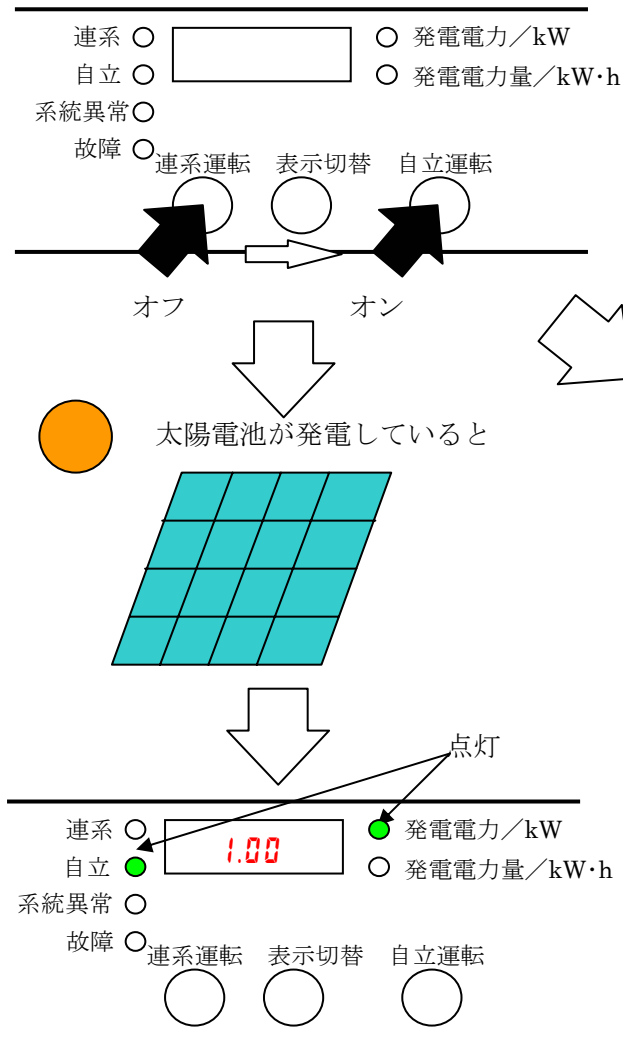
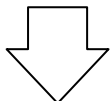
- (1) 自立運転を行う場合は、パワーコンディショナの自立コンセントに使用目的の電気製品のプラグをつなぎかえて下さい。
- (2) パワーコンディショナの自立コンセントに接続できる最大容量は1.5kVA以内です。  
AC100Vで最大15A（1.5kVA）未満の機器を接続して使用してください。
- (3) 自立コンセントの出力容量は、太陽電池の発電状況（天候）により変動します。  
よって、自立コンセントには停電すると困るような機器（パソコン、医療機器等）は接続しないでください。
- (4) モーター内蔵機器(掃除機、冷蔵庫等)を接続すると、急激な電流が流れるため、保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。
- (5) 太陽が昇っている間でしか発電しませんので、停電が復旧した場合は、電気製品のプラグをパワーコンディショナの自立コンセントから家庭用コンセントにつなぎかえてください。  
特に電気冷蔵庫などの使用は、長時間放置されると中の食品に問題が出る可能性があるのでご注意ください。
- (6) 自立運転中での売電はできません。

## □ 連系運転モードから自立運転モードへの切替方法

パワーコンディショナは、停電などにより電力会社から電力が供給されなくなっても、太陽電池が発電する電力を使用することができます。ここでは、その方法について説明します。

- ・太陽光発電用ブレーカを「OFF」にして下さい。

(交流側)



自立運転表示が点灯し、運転を開始します。

停電用コンセント AC100V/15A に使用したい機器を接続してください。

- 接続する機器の電力が合計 AC100V 15A 以内になるようにしてください。
- 発電量は天候により変化します。接続する機器の消費電力が発電量より大きいと機器が停止します。また、掃除機など電流が急激に流れる機器をつないだとき保護機能が働き停止することがあります。

### ⚠ 注意

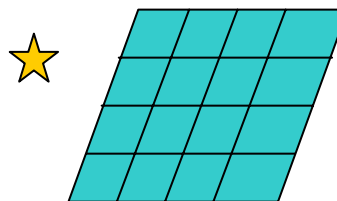
必ずPV分岐ブレーカをOFFにした状態で以降の操作を行ってください。  
 コンディショナが故障する恐れがあります。



- ・停電時、PV表示部に「E1-2、E1-4、E1-8」がスクロール表示されていれば、太陽電池は発電しています。
- ・連系運転スイッチをオフにしてください。
- ・自立運転スイッチをオンにしてください。



太陽電池が発電していると



太陽電池が発電するまで、停止します。

## □自立運転モードから連系運転モードへの切替方法

- 電力会社からの電力が復電していることを確認します
- パワーコンディショナの自立運転スイッチをOFFします
- PV分岐ブレーカをONします
- パワーコンディショナの連系運転スイッチをONします
- パワーコンディショナが系統連系運転を開始します

正しくお使いいただくために

自立運転スイッチをON状態にしていると、自立運転モードを継続しますのでご注意ください。

連系運転スイッチと自立運転スイッチとを同時にONしないでください。

どちらか一方がONでないと、パワーコンディショナから出力できません。